



授業改善に向けた学校全体としての授業改善の方策

授業時数確保の工夫	指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域との連携・協働の工夫
<ul style="list-style-type: none"> 学校行事や会議を精選し欠時数を最小限にする。 週案に基づき標準時数確保のため計画的に授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善プラン等を活用し、個に応じた指導の充実を図る。 少人数指導を取り入れ、基礎基本の指導の充実を図る。 授業の導入を工夫し、学ぶ意欲の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導の重点、特色ある学校づくりの項目の中に、授業改善と学力向上についての目標を明確に位置づける。 夏季休業中の補充学習を通して、基礎基本の確実な習得を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 視点を絞り協議会の活性化を図る。 若手教員の授業作りに中堅教員が参画し、授業力の向上を図る。 研究授業だけでなく、分科会を中心に活発に実践報告を行い、研究成果を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 作成した評価規準表を活用した評価を行う。 形成的評価を行い指導と評価の一体化を図る。 学力調査結果を生かし、学習方法や一斉学習や個別学習の指導法の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 休業中や休業前に面談を実施し、学力調査結果から個人の課題を明確にし、家庭教育との連携を図る。 授業参観等を通して、家庭・地域に学校の教育活動に対する理解と協力を得る。